

「空間情報科学の地域研究および国際保健学への応用」に関する研究集会

1. 日程・場所

2009年3月15日（日）13:00～19:00、3月16日（月）（9:00～13:00）

熱海市中央公民館会議室 第2会議室

http://www.city.numazu.shizuoka.jp/sunzu_r/htm/02_07.htm

（熱海市中央町 1-25 Tel: 0557-82-1271）

2. 参加者

・15-16日とも（順不同）

梅崎・古澤・蔣・李（東大）

西谷（歴博）

門司・東城（地球研）

佐々木・Alexis Comber（新潟大）

谷村（兵庫医科大）

小野（JAXA/EORC）

中谷・Seraphim Alvanides（立命館大）

後藤（長崎大）

星川（京大）

・1日のみの参加（順不同）

小熊（新潟大）（15日のみ）

大久保（東大）（15日のみ）

3. プログラム

2009年3月15日（日）

13:00-13:45

Alexis Comber（University of Leicester, 新潟大学）

”Managing uncertainty when aggregating from pixels to parcels: context sensitive mapping and possibility theory”

13:45-14:30

Seraphim Alvanides（University of Newcastle upon Tyne, 立命館大学）

“Modelling associations between landuse and physical activities”

14:30-14:45

Jiang HW and Umezaki M (University of Tokyo)

“GPS and accelerometer as tools for behavioral study in the field

14:45-15:45

衛星リモートセンシングデータの地形補正・大気補正の方法論の検討

「小野（JAXA/EORC）さんの研究成果の紹介」

「全員でのワークショップ」

15:45-16:00 休憩

16:00-18:30

『空間情報科学の地域研究および国際保健学への応用』の現状（I）

新潟大・公衆衛生チーム（佐々木・小熊）

「新潟大学ヒューマンヘルスGISセンターの取り組み」

国立地球環境研究所・門司チーム（東城・門司）

「ラオスにおける ALSO データを用いた空間情報基盤データの整備について」

立命館大・中谷

“Geomedical analysis of historical disease recordings in Kyoto, Japan in the early 20th century: Examining a series of disease maps of typhoid fever outbreaks in 1928-9”

コメント+追加情報：西谷・星川・古澤

18:30-19:00 全員討論

2009 年 3 月 16 日（月）

9:00-11:00

『「空間情報科学の地域研究および国際保健学への応用」の現状（II）』

熱帯医学への応用（谷村・後藤）

景観生態学への応用（大久保）

東南アジア地域研究への応用（星川）

11:00-12:30 今年度の新しい研究展開についての討議

以上